

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2022 年 3 月 16 日作成 第 1.0 版

研究課題名	術後再建腸管に合併した胆膵疾患症例を対象にした小腸鏡 ERCP 治療の検討
研究の対象	2013 年 1 月から 2022 年 3 月の間に、術後再建腸管に合併した胆膵疾患と診断され小腸鏡 ERCP を施行された患者さんのうち、治療当時の年齢が 20 歳以上の方を対象とします。
研究の目的	胃切除をはじめとした術後再建腸管を有する胆膵疾患の治療は難しいですが、近年小腸鏡を用いた ERCP 治療が行われることが増えてきました。小腸鏡 ERCP 治療は比較的新しい治療法ですので、その有効性について国内の報告が少なく、明らかにしておく必要があります。小腸鏡 ERCP の治療成績を解析し、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、小腸鏡 ERCP の成績について検討します。 通常の診療で得られた情報・検体を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none">・背景情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、合併症・原疾患・血液検査の結果・画像検査：CT、MRI・ERCP 手技情報：使用した内視鏡、治療回数、内視鏡到達率、手技成功率、手技時間、使用したデバイスの種類・治療効果・手技を施行した術者・ERCP に伴う合併症の有無とその内容・治療後の経過
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管 理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、個人と識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の管理について責任を有する者	<p>当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p>研究責任者：横浜市大附属病院 長谷川 翔</p>
利益相反	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。</p> <p>本研究は、大学の基礎研究費を用いて行います。本研究で効果を検討する薬剤の製薬会社と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。</p>
研究組織（利用する者の範囲）	<p>【研究機関と研究責任者】</p> <p>横浜市立大学附属病院 内視鏡センター（研究責任者）長谷川 翔</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学附属病院 内視鏡センター （研究責任者）長谷川 翔</p> <p>電話番号：045 - 787-2800（代表） FAX：045 - 784 - 3546</p>	